

第2次静岡市茶どころ日本一計画

令和5年度実施計画

実施状況報告書

令和6年9月

静岡市

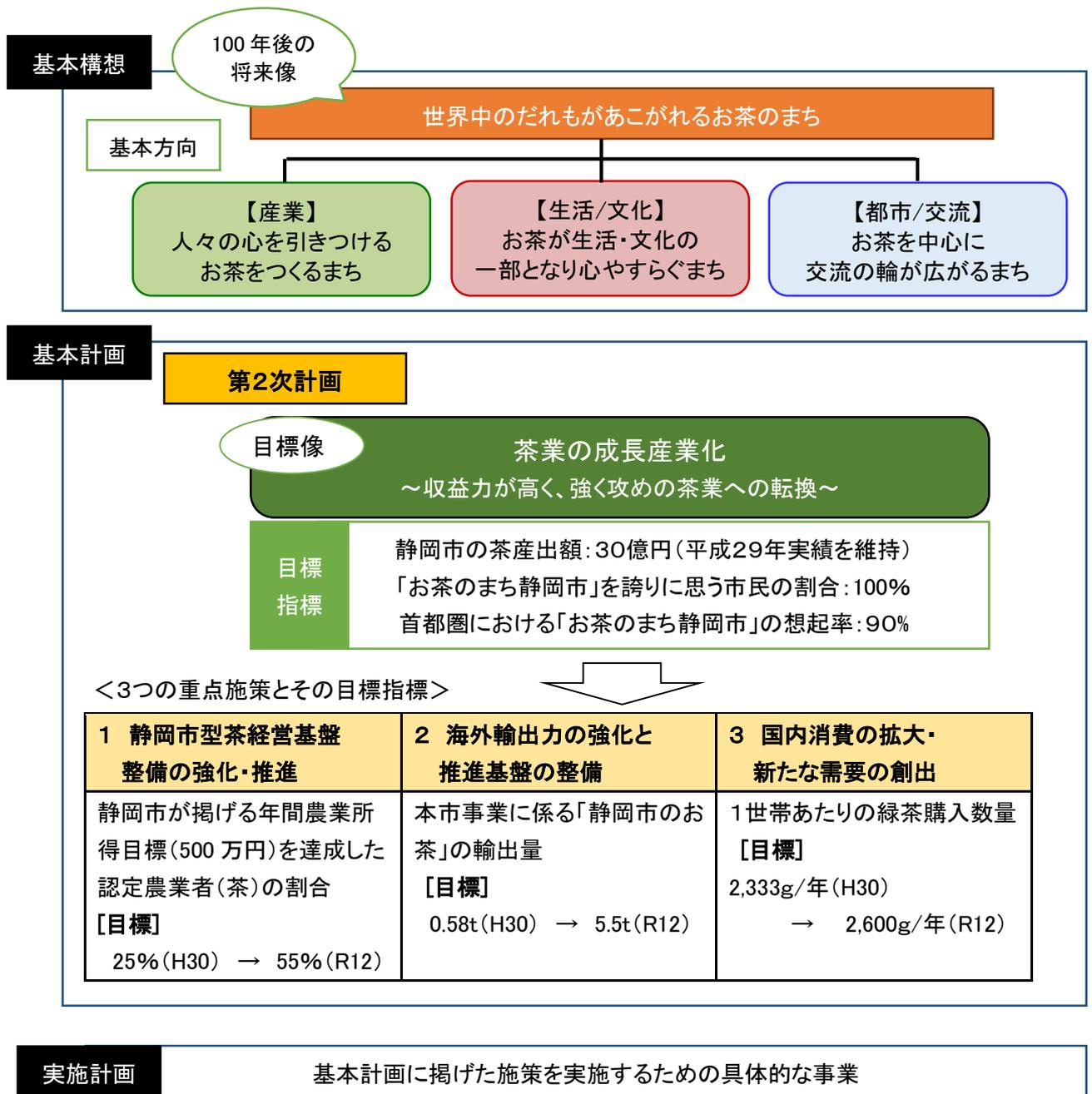
目 次

1	はじめに	1
2	第2次静岡市茶どころ日本一計画の施策体系	2
3	第2次静岡市茶どころ日本一計画の目標指標	3
4	第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画対象施策一覧	4
5	令和5年度実施計画	
(1)	実施状況総括表	6
(2)	実施計画実施状況	
	【産業】	8～11
	【生活／文化】	12～15
	【都市／交流】	16～19

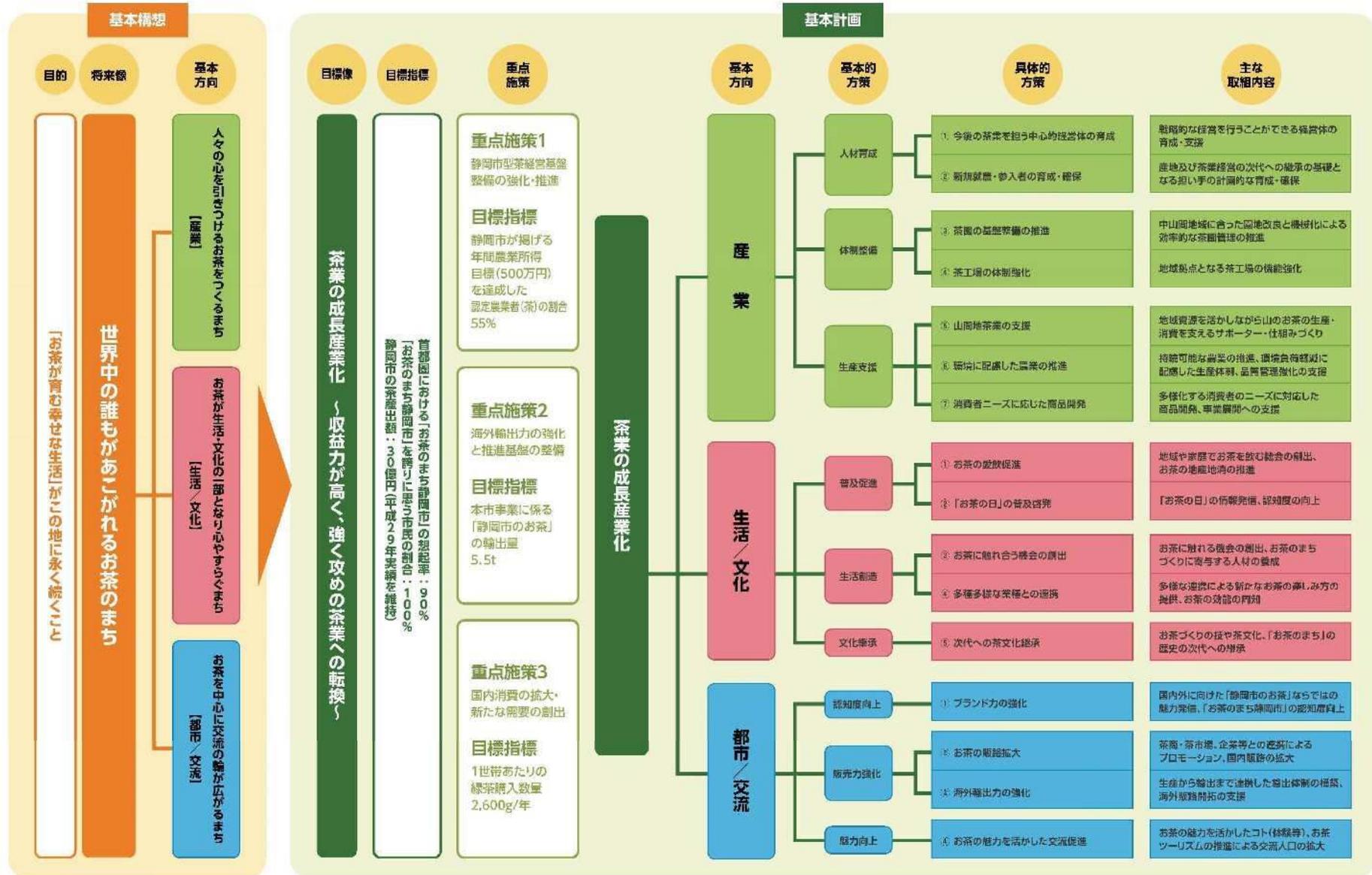
1 はじめに

本市では、平成21年4月1日に「静岡市めざせ茶どころ日本一条例」が施行され、この条例に基づき「静岡市茶どころ日本一計画」を策定し、茶業振興に向けた取組を行っています。

この計画は、茶業の振興とともに、市民の豊かで健康的な生活の向上を目的とし、“100年後もお茶のまちであり続けたい”という超長期的な構想を視線の先に据えた基本構想、基本構想を実現するための基本的な考え方（施策の方向と具体的な施策）を示した基本計画、基本計画に掲げた施策を実現するための具体的な事業からなる実施計画により構成されています。



2 第2次静岡市茶どころ日本一計画 施策体系



3 第2次静岡市茶どころ日本一計画 目標指標

第2次計画及び同計画で設定した重点施策に係る計画期間終了時点(令和13年3月31日時点)での目標指標は以下のとおりです。

<第2次計画の目標指標>

目標指標	基準値 (年度)	目標値 (R12)	実績値										
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
静岡市の茶産出額 ※1	30億円 (H29)	30億円	20.2 億円 (R1)	16.3 億円 (R2)	21.5 億円 (R3)	19.6 億円 (R4)							
「お茶のまち静岡市」を誇りに思う市民の割合 ※2	92.0% (H30)	100%	94.0 %	90.0 %	93.5 %	86.9 %							
首都圏における「お茶のまち静岡市」の想起率 ※3	87.3% (H30)	90%	91.3 %	88.6 %	90.7 %	93.5 %							

<重点施策の目標指標>

目標指標	基準値 (年度)	目標値 (R12)	実績値										
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
【重点施策1】 静岡市が掲げる年間農業所得目標(500万円)を達成した認定農業者(茶)の割合 ※4	25% (H30)	55%	17.0 %	19.6 %	32.6 %	29.3 %							
【重点施策2】 本市事業に係る「静岡市のお茶」の輸出量	0.58t (H30)	5.5t	0.559 t	1.042 t	7.43 t	7.0 t							
【重点施策3】 1世帯あたり緑茶購入数量(リーフ茶) ※5	2,333 g/年 (H30)	2,600 g/年	2,323 g/年	1,759 g/年	1,401 g/年	1,217 g/年							

※1 農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」

※2 静岡市 市政モニターアンケート調査

※3 東京都民への静岡市イメージ調査(広報課実施)

※4 認定農業者(茶) アンケート(R2.11)、認定農業者アンケート(R3.5、R4.6)
認定農業者経営改善計画(R5)

※5 総務省家計調査 家計収支編 二人以上の世帯

4 第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画対象施策一覧(令和5年度)

主たる事業 事業の目的・内容がお茶の生産振興、茶文化の普及、お茶の消費拡大など、静岡市の茶業振興に直接繋がる事業
 関連事業 事業の目的・内容が静岡市の茶業振興に直接繋がる事業ではないが、事業実施により副次的に茶業振興になる事業、又はお茶を活用して「お茶のまち静岡市」のプロモーションに繋がる事業

A 人々の心を引きつけるお茶をつくるまち【産業】

基本的方策	具体的方策	No.	事業名	種別		所管課
				主たる事業	関連事業	
1 人材育成	①今後の茶業を担う中心的経営体の育成	1	中心的経営体重点支援事業	○		静岡市茶業振興協議会
		2	農業経営講座		○	農業政策課
		3	農業経営収入保険加入費補助金		○	農業政策課
		4	多様な担い手育成支援事業		○	農業政策課
	②新規就農・参入者の育成・確保	5	多様な担い手育成支援事業【再掲】		○	農業政策課
		6	認定農業者・新規就農者育成支援事業補助金		○	農業政策課
2 体制整備	③茶園の基盤整備の推進	7	茶産地総合対策事業(茶園改良整備事業)	○		農業政策課
		8	茶産地総合対策事業(茶園共同管理推進事業)	○		農業政策課
		9	茶産地総合対策事業(防霜施設修繕事業)	○		農業政策課
		10	茶園集積推進事業	○		農業政策課
		11	荒廃農地再生・集積促進事業		○	農地利用課
		12	農地中間管理事業		○	農地利用課
		13	県営土地改良事業負担金		○	農地整備課
		14	農地中間管理機構関連整備事業		○	農地整備課
	④茶工場の体制強化	15	茶産地総合対策事業(加工施設機械整備事業)	○		農業政策課
		16	中心的経営体重点支援事業【再掲】	○		静岡市茶業振興協議会
3 生産支援	⑤山間地茶業の支援	17	茶産地総合対策事業(補完作物転換事業)	○		農業政策課
		18	茶共済加入推進事業	○		農業政策課
		19	認定農業者・新規就農者育成支援事業補助金【再掲】		○	農業政策課
		20	援農ボランティア事業		○	農業政策課
		21	ふるさと農力チャレンジ事業		○	農業政策課
		22	中山間地域直接支払制度		○	中山間地振興課
		23	オクシズ元気ビジネス支援事業		○	中山間地振興課
		24	野生鳥獣被害防除事業		○	中山間地振興課
	⑥環境に配慮した農業の推進	25	特産茶戦略的輸出支援事業	○		農業政策課
		26	グリーン農業推進事業補助金	○		農業政策課
		27	環境保全型農業支援事業		○	農業政策課
⑦消費者ニーズに応じた商品開発	28	お茶の産地づくり推進事業	○		農業政策課	
	29	ふるさと農力チャレンジ事業【再掲】		○	農業政策課	

B お茶が生活・文化の一部となり心やすらぐまち【生活/文化】

基本的方策	具体的方策	No.	事業名	種別		所管課
				主たる事業	関連事業	
1 普及促進	①お茶の愛飲促進	30	お茶の美味しい入れ方教室	○		農業政策課
		31	「静岡市流おもてなし」茶器、冷茶機、茶娘衣装の貸出	○		農業政策課
		32	婚姻家庭に急須・お茶等のプレゼント	○		静岡市茶業振興協議会
		33	「静岡市のお茶」消費拡大事業	○		静岡市茶業振興協議会
		34	駿河区魅力づくり事業	○		駿河区地域総務課
		35	社会科副読本改訂事業		○	教育センター
	②「お茶の日」の普及啓発	36	学校給食「お茶」提供事業		○	学校給食課
		37	お茶の日記念事業	○		農業政策課
		38	お茶に親しむ日事業	○		静岡市茶業振興協議会
		39	静岡市「お茶の日」関連図書展示	○		中央図書館

2 生活創造	③お茶に触れ合う 機会の創出	40	お茶の美味しい入れ方教室【再掲】	○	農業政策課
		41	静岡市お茶の学校	○	農業政策課
		42	T-1グランプリ実行委員会負担金	○	農業政策課
		43	「静岡市流おもてなし」茶器、冷茶機、茶娘衣装の貸出【再掲】	○	農業政策課
		44	婚姻家庭に急須・お茶等のプレゼント【再掲】	○	静岡市茶業振興協議会
		45	静岡市民文化祭「市民大茶会」「茶道大会」	○	文化振興課
		46	芹美であじわう静岡茶	○	文化振興課
		47	生涯学習施設お茶関連講座	○	生涯学習推進課
		48	葵区魅力づくり事業	○	葵区地域総務課
		49	食育推進事業	○	健康づくり推進課
		50	学校給食「お茶」提供事業【再掲】	○	学校給食課
		51	学校給食で「茶」を使った料理の提供	○	学校給食課
			④多種多様な業種との連携	52	静岡お茶カフェ情報発信事業
3 文化継承	⑤次代への 茶文化継承	53	茶手揉保存事業	○	農業政策課
		54	駿府本山お茶まつり事業	○	農業政策課
		55	聖一国師顕彰事業	○	農業政策課
		56	静岡市献上茶謹製事業	○	農業政策課
		57	静岡市文化財保存活用地域計画策定事業	○	文化財課

C お茶を中心に交流の輪が広がるまち【都市/交流】

基本的方策	具体的方策	No.	事業名	種別		所管課
				主たる事業	関連事業	
1 認知度向上	①ブランド力の強化	58	「お茶のまち静岡市」HP活用事業	○		農業政策課
		59	「お茶のまち静岡市」国内プロモーション事業	○		農業政策課
		60	「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入事業	○		農業政策課
		61	組立式茶室活用事業	○		農業政策課
		62	茶業界・タクシー業界連携事業	○		静岡市茶業振興協議会
		63	シティプロモーション推進事業(しずちカ空間再構築事業)		○	広報課
		64	農水産物消費拡大促進事業		○	農業政策課
		65	オクシズプロモーション事業		○	中山間地振興課
2 販売力強化	②お茶の販路拡大	66	「お茶のまち静岡市」HP活用事業【再掲】	○		農業政策課
		67	お茶の産地づくり推進事業【再掲】	○		農業政策課
		68	茶販路拡張事業	○		農業政策課
		69	「お茶のまち静岡市」国内プロモーション事業	○		農業政策課
		70	ふるさと農カチャレンジ事業【再掲】		○	農業政策課
	71	特産茶戦略的輸出支援事業【再掲】	○		農業政策課	
	③海外輸出力の強化	72	グローバル産地づくり推進事業	○		静岡市茶業振興協議会
3 魅力向上	④お茶の魅力を 活かした交流促進	73	お茶ツーリズム推進事業	○		農業政策課(R5所管) 観光政策課(R6所管)
		74	「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入事業【再掲】	○		農業政策課
		75	組立式茶室活用事業【再掲】	○		農業政策課
		76	聖一国師顕彰事業【再掲】	○		農業政策課
		77	オクシズプロモーション事業【再掲】		○	中山間地振興課
		78	姉妹都市等交流事業		○	国際交流課
		79	客船寄港歓迎事業		○	海洋文化都市政策課(R5所管) 清水みなと振興課(R6所管)
		80	静岡県中部地域連携DMO推進事業		○	観光・MICE推進課(R5所管) 観光政策課(R6所管)

※静岡市茶業振興協議会：静岡市農業協同組合、清水農業協同組合、静岡茶商工業協同組合、静岡市で構成

5 令和5年度実施計画

令和5年度実施計画に位置付けられた事業は延べ80事業（再掲事業含む）です。
これらを「主たる事業」（事業対象が専らお茶に関わると思われる事業）と「関連事業」（事業対象の一部がお茶に関わるもの、又はお茶に関する活動等に活用できるもの）に大別しています。

（主たる事業：48事業、関連事業：32事業 ※再掲事業含む）。

（1）実施事業総括表（※再掲事業を含む）

基本方向	基本の方策	対象事業数		令和5年度達成状況			
				a	b	c	d
産業	1 人材育成	主たる事業	1				1
		関連事業	5	5			
		計	6	5			1
	2 体制整備	主たる事業	6	5			1
		関連事業	4	3	1		
		計	10	8	1		1
	3 生産支援	主たる事業	5	4		1	
		関連事業	8	8			
		計	13	12		1	
	計	主たる事業	12	9		1	2
		関連事業	17	16	1		
		計	29	25	1	1	2
生活／文化	1 普及促進	主たる事業	8	8			
		関連事業	2	2			
		計	10	10			
	2 生活創造	主たる事業	9	8			1
		関連事業	4	4			
		計	13	12			1
	3 文化継承	主たる事業	4	4			
		関連事業	1	1			
		計	5	5			
	計	主たる事業	21	20			1
		関連事業	7	7			
		計	28	27			1

基本方向	基本的方策	対象事業数		令和5年度達成状況			
				a	b	c	d
都市／ 交流	1 認知度向上	主たる事業	5	5			
		関連事業	3	2	1		
		計	8	7	1		
	2 販売力強化	主たる事業	6	5	1		
		関連事業	1	1			
		計	7	6	1		
	3 魅力向上	主たる事業	4	4			
		関連事業	4		3	1	
		計	8	4	3	1	
	【都市／交流】 計	主たる事業	15	14	1		
		関連事業	8	3	4	1	
		計	23	17	5	1	
総 計	主たる事業	48	43	1	1	3	
	関連事業	32	26	5	1		
	計	80	69	6	2	3	

※達成状況の評価凡例

各事業の成果指標に達する達成状況

a：計画の80%以上達成

b：計画の60%以上80%未満の達成

c：計画の60%未満の達成

d：未実施

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

A 産業

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本 的 方 策	基 本 的 方 策	具 体 的 方 策	事業名	種 別 1:主たる事業 2:関連事業	再掲	事業計画			事業実績					備考	所管課 (関係団体)
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度	評価		
1	A	1	①	中心的経営体重点支援事業	1:主たる事業		今後の茶業を担う中心的経営体（共同茶工場・自園自製農家）に対し重点的な支援を実施するため、関係機関による総合支援会議を開催する。	-	茶業経営の基盤づくり	実施せず	-	実施せず	d	市として実施している有機茶検討会議実施事業で視察会等、生産部門への支援を予定していたため、実施をしなかった。		静岡市茶業振興協議会
2	A	1	①	農業経営講座	2:関連事業		ビジネス感覚豊かな農業者の育成と、新たに農業を志す者の掘り起こしを目的とした「担い手育成支援事業」として、農業者向けの現地見学会とアグリチャレンジパーク蒲原でメニューを拡充した農業体験イベントを実施する。	622	・現地見学会の実施 ・農業体験参加者100名以上	ひまわりの苗植え体験、野菜の栽培体験（全4回講座）、野菜の収穫体験を実施した。	567	各イベント参加者合計240名	a	成果指標を上回る人数がイベントに参加し、多くの人に農業を身近に感じてもらうことができた。		農業政策課
3	A	1	①	農業経営収入保険加入費補助金	2:関連事業		静岡市内の認定農業者及び認定志向農業者に対して、全国農業共済組合連合会が取り扱う「農業経営収入保険制度」の加入促進を行うとともに、加入の際に必要な保険料のうち、掛け捨て分に対して補助を行う。	4,560	R5新規加入 50経営体	全国農業共済組合が取り扱う農業経営収入保険の加入者（新規加入から3年目まで）に対し、加入の際に必要な掛け捨て分保険料の一部を助成した。	3,161	加入者397経営体 (前年比+57経営体)	a	事業の周知と加入の動奨により加入者数が前年と比較して57経営体の増加に繋がった。		農業政策課
4	A	1	①	多様な担い手育成支援事業	2:関連事業		農業者の高齢化や減少に対処し、着実に担い手を確保することや、生産基盤である農地を適切に維持していくことを目的に「半農半X」等の「多様な担い手」が行う所得向上のための取り組みに対して支援する。	4,800	新規就農者23経営体の確保	農業者の高齢化や減少に対処し、着実に担い手を確保することや、生産基盤である農地を適切に維持していくことを目的に「半農半X」等の「多様な担い手」が行う所得向上のための取り組みに対して支援した。	2,072	新規就農者26経営体	a	事業の実施により、新規就農者の確保に繋がり、目標値に対して3経営体の増加となり目標を上回った。		農業政策課
5	A	1	②	多様な担い手育成支援事業	2:関連事業	○ (A-1- ①)	農業者の高齢化や減少に対処し、着実に担い手を確保することや、生産基盤である農地を適切に維持していくことを目的に「半農半X」等の「多様な担い手」が行う所得向上のための取り組みに対して支援する。	4,800	新規就農者23経営体の確保	農業者の高齢化や減少に対処し、着実に担い手を確保することや、生産基盤である農地を適切に維持していくことを目的に「半農半X」等の「多様な担い手」が行う所得向上のための取り組みに対して支援した。	2,072	新規就農者26経営体	a	事業の実施により、新規就農者の確保に繋がり、目標値に対して3経営体の増加となり目標を上回った。		農業政策課
6	A	1	②	認定農業者・新規就農者育成支援事業補助金	2:関連事業		地域農業の担い手である認定農業者及び新規就農者等の農作業の省力化や先端技術の導入等、経営基盤の強化を目的に実施する事業に対し、その経費の一部を助成する。	22,000	認定農業者数 600経営体	認定農業者36経営体に対し、補助金を交付した。	20,976	認定農業者612経営体	a	事業が円滑にできるよう、引き続き認定農業者の営農活動を支援し、本市の認定農業者の増加に努める。		農業政策課
7	A	2	③	茶産地総合対策事業 (茶園改良整備事業)	1:主たる事業		茶の生産性の向上と良質茶の生産の推進による茶業経営の安定化を図るため、茶園の平坦化、園内作業道整備、防霜施設の整備等の基盤整備に対して助成する。	22,308 の一部	茶業経営の基盤づくり	優良茶園を確保するため、茶園の小規模基盤整備に対して補助金を交付した。	1,660	交付件数：4件 交付金額： 1,660,000円	a	適正に補助金を交付し、農業者の茶業経営の支援をすることができた。	※予算額は加工施設機械整備整備事業、茶園改良整備事業、茶園共同管理推進事業、防霜施設修繕事業、補完作物転換事業合計	農業政策課

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

A 産業

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方策	具体的方策	事業名	種別 1:主たる事業 2:関連事業	再掲	事業計画			事業実績					備考	所管課 (関係団体)
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度	評価		
8	A	2	③	茶産地総合対策事業 (茶園共同管理推進事業)	1:主たる事業		茶園の共同管理を推進するため、共同管理に必要な施設や機械の導入に対して助成する。	22,308 の一部	茶業経営の基盤づくり	茶園の共同管理を推進するため、共同管理に必要な施設や機械の導入に対して補助金を交付した。	159	交付件数：1件 交付金額：159,000	a	適正に補助金を交付し、農業者の茶業経営の支援をすることができた。	※予算額は加工施設機械整備整備事業、茶園改良整備事業、茶園共同管理推進事業、防霜施設修繕事業、補完作物転換事業合計	農業政策課
9	A	2	③	茶産地総合対策事業 (防霜施設修繕事業)	1:主たる事業		茶の生産の安定化を図るため、防霜施設の修繕に対して助成する。	22,308 の一部	茶業経営の基盤づくり	茶の生産の安定化を図るため、緊急を要する防霜施設の修繕に対して補助金を交付した。	282	交付件数：17件 交付金額：282,000 円	a	適正に補助金を交付し、農業者の茶業経営の支援をすることができた。	※予算額は加工施設機械整備整備事業、茶園改良整備事業、茶園共同管理推進事業、防霜施設修繕事業、補完作物転換事業合計	農業政策課
10	A	2	③	茶園集積推進事業	1:主たる事業		農地中間管理事業を活用して茶工場等への茶園集積を推進することにより、茶園の耕作放棄地の発生を防止し、茶園の保全を図る。	1,500	事業の実施	農地中間管理事業を活用して、茶工場等への茶園集積を推進することにより、茶園の耕作放棄地の発生を防止し、茶園の保全を図った。	648	集約した面積：259a	a	259aの補助交付を行い、茶園の耕作放棄地の発生を防止し、茶園の保全を図った。		農業政策課
11	A	2	③	荒廃農地再生・集積促進事業	2:関連事業		荒廃農地を借り受けて再生作業に取り組む農業者等に対して、補助対象経費の一部を助成する。	6,600	荒廃農地の再生面積及び担い手への集積面積	荒廃農地の再生及び集積を行う担い手6経営体に対して補助金を交付した。	6,595	荒廃農地再生・集積面積 1.02ha	a	前年に比べ、再生単価が高い事業が半数を占めたことから、再生面積は前年度実績を下回った。		農地利用課
12	A	2	③	農地中間管理事業	2:関連事業		農地中間管理機構を通して担い手への農地集積・集約化に取り組む地域や個人に対して助成する。	1,444	農地中間管理事業による農地集積（貸借）面積	農地中間管理事業による農地貸借により、担い手への農地集積・集約化を行った。	0	農地中間管理事業による農地集積面積 46ha	b	補助金交付を見込んでいた地域において交付要件を満たす集積が行われなかったことから決算額はゼロとなった。また集積面積は前年度に比べて新規分と円滑化から農地中間管理事業への移行分が減ったことから目標値を下回った。		農地利用課
13	A	2	③	県営土地改良事業負担金	2:関連事業		県営土地改良事業の基礎調査に係る負担金を支出する。	8,000	対象調査の実施	県営土地改良事業の基礎調査に係る負担金を支出した。	8,500	当初計画2地区に対して2地区実施	a	・当初計画通り実施 ・営農者からの追加要望に伴う金額増加		農地整備課
14	A	2	③	農地中間管理機構関連整備事業	2:関連事業		農地中間管理機構関連整備事業に係る負担金を支出する。	10,125	農地基盤整備事業（約31ha）の事業完了（令和9年度末）	農地中間管理機構関連整備事業に係る負担金を支出した。	22,875	当初計画通り実施	a	・当初計画通り実施 ・工事費の増加（造成区域の追加）に伴う金額増加		農地整備課
15	A	2	④	茶産地総合対策事業 (加工施設機械整備事業)	1:主たる事業		茶の生産性の向上と良質茶の推進による茶業経営の安定化を図るため、荒茶及び仕上げ茶加工施設で使用する機械の導入に対して助成する。	22,308 の一部	茶業経営の基盤づくり	茶の生産性の向上と良質茶の推進による茶業経営の安定化を図るため、荒茶及び仕上げ茶加工施設で使用する機械の導入に対して補助金を交付した。	18,030	交付件数：28件 交付金額： 18,030,000円	a	適正に補助金を交付し、農業者の茶業経営の支援をすることができた。	※予算額は加工施設機械整備整備事業、茶園改良整備事業、茶園共同管理推進事業、防霜施設修繕事業、補完作物転換事業合計	農業政策課

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

A 産業

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本方針	具体的方針	事業名	種別 1:主たる事業 2:関連事業	再掲	事業計画			事業実績					備考	所管課 (関係団体)
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度	評価		
16	A	2	④	中心的経営体重点支援事業	1:主たる事業	○ (A-1-①)	今後の茶業を担う中心的経営体（共同茶工場・自園自製農家）に対し重点的な支援を実施するため、関係機関による総合支援会議を開催する。	-	茶業経営の基盤づくり	実施せず	-	実施せず	d	市として実施している有機茶検定会議実施事業で視察会等、生産部門への支援を予定していたため、実施をしなかった。	静岡市茶業振興協議会	
17	A	3	⑤	茶産地総合対策事業 (補完作物転換事業)	1:主たる事業		茶業経営の安定化を図るため、茶から他作物への転換に対して助成する。 (JA静岡市) 市の補助に1万円を上乗せ助成	22,308 の一部	茶業経営の基盤づくり	茶業経営の安定化を図るため、茶他作物への転換に対して助成した。	912	交付団体数：2 交付金額：912,000	a	適正に補助金を交付し、農業者の茶業経営の支援をすることができた。	※予算額は加工施設機械整備整備事業、茶園改良整備事業、茶園共同管理推進事業、防霜施設修繕事業、補完作物転換事業合計	農業政策課
18	A	3	⑤	茶共済加入推進事業	1:主たる事業		茶業経営の安定化を図るため、茶共済加入に対して助成する。	647	事業の実施	茶業経営の安定化を図るため、茶共済加入に対して助成した。	318	事業の実施	a	茶業経営の安定化を図ることができた。	農業政策課	
19	A	3	⑤	認定農業者・新規就農者育成支援事業補助金	2:関連事業	○ (A-1-②)	地域農家の担い手である認定農業者及び新規就農者等の農作業の省力化や先端技術の導入等、経営基盤の強化を目的に実施する事業に対し、その経費の一部を助成する。	22,000	認定農業者数 600経営体	認定農業者36経営体に対し、補助金を交付した。	20,976	認定農業者612経営体	a	事業が円滑にできるよう、引き続き認定農業者の営農活動を支援し、本市の認定農業者の増加に努める。	農業政策課	
20	A	3	⑤	援農ボランティア事業	2:関連事業		後継者不足や人手不足に悩む農業者と農業をサポートしたい消費者を結び、営農の継続がしやすい状況をつくる。	55	ボランティアの派遣人数 127人（暫定数値）	73人の新規ボランティアを受入れ、117人をボランティアに派遣した。	0	ボランティアの派遣人数 117人	a	概ね例年通りの人数を派遣できたので、農家の人手不足に対するサポートができた。	農業政策課	
21	A	3	⑤	ふるさと農力チャレンジ事業	2:関連事業		農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付する。	2,000	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 4件	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付した。	1,735	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 4件	a	成果指標を達成する件数に対し、補助金を交付し農業者の支援をすることができた。	農業政策課	
22	A	3	⑤	中山間地域等直接支払制度	2:関連事業		耕作放棄地の発生を防止し、農地の持つ多面的機能を確保するため、農業生産活動を通じて農地の保全活動及び集落の活性化を図る活動に取り組む営農集団等を支援するため、国の制度である、中山間地域等直接支払制度の交付金の交付する。	16,822	集落協定の締結 30協定	・集落協定を締結した30団体に 対し、変更協定の認定及び制度活用に係る指導を行った。 ・農業生産活動に応じ、中山間地域等直接支払制度の交付金を各団体に交付した。	15,291	集落協定の締結 30協定	a	30団体の集落協定に対し交付金を交付し、農業生産活動を支援して耕作放棄地の発生を防止した。	中山間地振興課	
23	A	3	⑤	オクシズ元気ビジネス支援事業	2:関連事業		過疎化と高齢化が進行し、農林業の低迷が続く中山間地域において、集落の維持、地域の活性化を実現するため、地域資源を活用した振興事業を計画、実行する住民団体に対して補助金を交付する。（補助金交付対象事業化の検討・支援・決定）	10,000	新規 3件	新規事業実施に係る事業費の補助	4,440	事業化件数：3件	a	新メニューや土産品の開発、民宿開業に対する3件の支援を行うことで、地域への誘客に繋げることができた。	中山間地振興課	

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

A 産業

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本的方策	具体的方策	事業名	種別 1:主たる事業 2:関連事業	再掲	事業計画			事業実績					備考	所管課 (関係団体)
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度	評価		
24	A	3	⑤	野生鳥獣被害防除事業	2:関連事業		野生鳥獣による農林産物被害を軽減するため、農業者等の防除用資材購入費に対する補助金の交付を行う。	51,375	野生鳥獣被害防除事業補助金 個人 70件 団体 30件 地域一体 5件	野生鳥獣による農林産物被害を軽減するため、農業者等の防除用資材購入費に対する補助金の交付を行った。	36,331	野生鳥獣被害防除事業補助金 個人 77件 団体 28件 地域一体 5件	a	防除事業の周知や補助金の改正等により、目標を達成することができた。		中山間地振興課
25	A	3	⑥	特産茶戦略的輸出支援事業	1:主たる事業		本市で産出された茶の輸出量増加を目的とした茶業者への支援を行う。 ・海外販路拡大支援 ・残留農薬検査支援	4,400	静岡市のお茶 輸出量：R5:3.0t	茶の輸出に取り組む事業者に対し、補助金を交付した。	2,545	静岡市のお茶 輸出量：R5:7.0t	a	補助金交付件数 海外販路拡大支援：7件 残留農薬検査支援：4件		農業政策課
26	A	3	⑥	グリーン農業推進事業補助金	1:主たる事業		化学農業、化学肥料、温室効果ガスを減らした栽培方法や有機農業等に取り組む農業者を支援することで、市内農業の環境負荷の低減を図る。	3,000	販売農家における環境負荷低減に取り組む農業者の割合 5.4%	事業活用についての相談はあったが年度内事業完了の見通しが立たなかったため、本年度中での事業は行われなかった。	0	販売農家における環境負荷低減に取り組む農業者の割合 5.4%	c	販売農家における環境負荷低減に取り組む農業者の割合は横ばいとなるが、事業については未実施となった。		農業政策課
27	A	3	⑥	環境保全型農業支援事業	2:関連事業		環境保全効果の高い農業生産を実践している農業者に対して交付金を交付する。	4,775	支援面積 3,703a	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律に基づく取り組み団体を支援した。	4,399	支援面積 3,945a	a	取組面積は当初の目標を上回り市内の環境保全型農業を推進することができた。		農業政策課
28	A	3	⑦	お茶の産地づくり推進事業	1:主たる事業		お茶のまちづくりを推進するため、お茶の生産者、流通関係者及び消費者の協働を通じて市内の茶産地のブランド力を高める事業を実施する団体への支援	4,775	事業の実施	市内の茶産地のブランド力を高める事業を実施する団体へ補助金を交付した。	401	補助金交付件数 1 件	a	市産地のブランド力を高める事業の実施支援を行った。		農業政策課
29	A	3	⑦	ふるさと農力チャレンジ事業	2:関連事業	○ (A-3-⑤)	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付する。	2,000	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 4件	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付した。	1,735	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 4件	a	成果指標を達成する件数に対し、補助金を交付し農業者の支援をすることができた。		農業政策課

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

B 生活/文化

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本 方向	基本 的 方 策	具 体 的 方 策	事業名	種 別 1:主たる事 業2:関連事 業	再掲	事業計画			事業実績					備考	所管課 (関係団体)
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度	評価		
30	B	1	①	お茶の美味しい入れ方教室	1:主たる事業		小学校の総合的学習の時間を利用しお茶の入れ方教室を実施し、お茶の啓蒙・消費拡大を図る。	3,902	希望する全ての市内小学校で実施	市内小学校全87校に対して希望調査を行い、希望した学校にお茶の美味しい入れ方教室を実施した。	3,261	実施校：66校	a	希望する学校と協議のうえ、要望に沿った授業内容で実施した。	農業政策課	
31	B	1	①	「静岡市流おもてなし」茶器、冷茶機、茶娘衣装の貸出	1:主たる事業		保有する茶器・冷茶機・茶娘衣装の貸出を実施する。	-	事業の実施	保有する茶器、冷茶機、茶娘衣装の貸出を実施した。	-	貸出件数：12件	a	茶器、冷茶機、茶娘衣装の貸出をすることで、静岡市のお茶、お茶のまち静岡市のPRにつながった。	農業政策課	
32	B	1	①	婚姻家庭に急須とお茶をプレゼント	1:主たる事業		婚姻届を提出した新しい世帯に急須と静岡市のお茶をプレゼントしお茶の広がりを深める。	-	2,000組/年	婚姻届を提出した新しい世帯に急須と静岡市のお茶をプレゼントし、お茶の広がりを深めた。	-	引き換え件数：1,658組	a	1,658組の新婚世帯への配布を行うことで、お茶振興に繋がった。	静岡市茶業振興協議会	
33	B	1	①	「静岡市のお茶」消費拡大事業	1:主たる事業		「静岡市のお茶」の消費拡大と新たな需要を創出するため、水出し緑茶による消費拡大キャンペーンを実施する。	-	事業の実施	静岡市内飲食店・宿泊施設53店舗にて、「『グビッ!としず茶。グビグビッ!としず茶割り。』キャンペーン」を実施し、水出し緑茶の需要喚起による「静岡市のお茶」の消費拡大を図った。	-	参加店舗53店舗 キャンペーン参加者237人	a	水出し緑茶の普及啓発により、「静岡市のお茶」の消費拡大及びブランド力強化に繋がった。	静岡市茶業振興協議会	
34	B	1	①	駿河区魅力づくり事業	1:主たる事業		駿河区旬穫祭において、静岡茶の販売等を実施する。	7,578の一部	事業の実施	駿河区旬穫祭において、静岡茶の販売等を実施した。	8,035の一部	【駿河区旬穫祭in葵スクエア】 ・静岡茶の販売を行った。	a	コロナ禍ではあったが、感染防止に配慮して実施できた。	駿河区地域総務課	
35	B	1	①	社会科副読本改訂事業	2:関連事業		小学校が社会科の授業で活用する副読本の中に、お茶を教材として取り上げ編集する。電子データ化し、市内の全小学3年生児童が使用できるようにする。	244	副読本を編集・電子データ化し、令和6年度に市内の全小学3年生が使用できるようにする。	小学校が社会科の授業で活用する副読本の中に、お茶を教材として取り上げ編集する。電子データ化し、市内の全小学3年生児童が使用できるようにした。	244	副読本を編集・電子データ化し、令和6年度に市内の全小学3年生が使用できるようにした。	a	データ版の副読本の認知度も上がり、活用も進んでいる。	教育センター	
36	B	1	①	学校給食「お茶」提供事業	2:関連事業		学校給食として、静岡市オリジナル紙パック緑茶を提供する。	-	5回/年	市立小中学校対象に学校給食として、静岡市オリジナル紙パック茶の提供を行った。	-	静岡市オリジナル紙パック茶の提供（4回）	a	毎月1日のお茶の日付近くやくわく給食の日に併せた提供も行うことができた。	学校給食課	
37	B	1	②	お茶の日記念事業	1:主たる事業		「静岡市めがせ茶どころ日本一条例」第9条に基づき11月1日を静岡市「お茶の日」として定め、その周知や静岡市のお茶が持つ魅力を広く発信する。	3,055	静岡市「お茶の日」記念事業（30事業）の実施（関連事業含む）	11月1日の静岡市「お茶の日」を中心とした事業の実施（関連事業含む）	2,081	静岡市「お茶の日」ポスターコンテストほか22事業の実施	a	11月1日の「お茶の日」を含め、各種催しや広報等により「お茶の日」の普及・啓発に繋がった。	農業政策課	
38	B	1	②	お茶に親しむ日事業	1:主たる事業		毎月1日をお茶に親しむ日とし、消費者がお茶に接する機会を多くし、お茶の消費拡大を図るとともに事業PRも積極的に実施する。	-	事業の実施	参加店舗協力のもと、毎月1日に来店されたお客様に向け、商品の割引特典等のキャンペーンを実施した。	-	参加店舗15件	a	お茶に親しむ日の普及及びお茶の消費促進に繋がった。	静岡市茶業振興協議会	

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

B 生活/文化

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本 方向	基本 的 方 策	具 体 的 方 策	事業名	種 別 1:主たる事 業2:関連事 業	再掲	事業計画			事業実績					備考	所管課 (関係団体)
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度	評価		
39	B	1	②	静岡市「お茶の日」関連図書展示	1:主たる事業		静岡市立図書館全12館で、静岡市「お茶の日」に関連した図書展示を行い、情報発信を図る。	-	全館（12館）実施	改修工事のため休館していた養科図書館を除く11館で、お茶に関する資料の展示を行った。	-	11館で実施	a	多くの図書館来館者に、お茶に関する情報発信をすることができた。		中央図書館
40	B	2	③	お茶の美味しい入れ方教室	1:主たる事業	○(B-1-①)	小学校の総合的学習の時間を利用しお茶の入れ方教室を実施し、お茶の啓蒙・消費拡大を図る。	3,902	希望する全ての市内小学校で実施	市内小学校全87校に対して希望調査を行い、希望した学校にお茶の美味しい入れ方教室を実施した。	3,261	実施校：66校	a	希望する学校と協議のうえ、要望に沿った授業内容で実施した。		農業政策課
41	B	2	③	静岡市お茶の学校	1:主たる事業		お茶のまちづくりを担う市民サポーター育成のため“静岡市のお茶”について様々な分野から構成された総合的な通年講座を開催する。	357	講座の開催7回	お茶のまちづくりを担う市民サポーター育成のため“静岡市のお茶”について様々な分野から構成された総合的な講座を開催した。	200	講座の開催7回	a	7回の講座を開催し、お茶のまちづくりを担う市民サポーター育成を行うことができた。		農業政策課
42	B	2	③	T-1グランプリ実行委員会負担金	1:主たる事業		小学校3～6年生を対象としたお茶の種類当て、入れ方実技競技等により総得点を競い合うT-1グランプリを開催し、お茶に親しむ機会を提供する。	300	大会の実施	小学校3～6年生を対象としたお茶の種類当て、入れ方実技競技等により総得点を競い合うT-1グランプリを開催し、お茶に親しむ機会を提供した。	300	大会の実施	a	大会の開催により、小学生とその親世代を中心に日本茶の良さを理解してもらうことができた。		農業政策課
43	B	2	③	「静岡市流おもてなし」茶器、冷茶機、茶娘衣装の貸出	1:主たる事業	○(B-1-①)	保有する茶器・冷茶機・茶娘衣装の貸出を実施する。	-	事業の実施	保有する茶器、冷茶機、茶娘衣装の貸出を実施した。	-	貸出件数：12件	a	茶器、冷茶機、茶娘衣装の貸出をすることで、静岡市のお茶、お茶のまち静岡市のPRにつながった。		農業政策課
44	B	2	③	婚姻家庭に急須とお茶をプレゼント	1:主たる事業	○(B-1-①)	婚姻届を提出した新しい世帯に急須と静岡市のお茶をプレゼントしお茶の広がりを深める。	-	2,000組/年	婚姻届を提出した新しい世帯に急須と静岡市のお茶をプレゼントし、お茶の広がりを深めた。	-	引き換え件数：1,658組	a	1,658組の新婚世帯への配布を行うことで、お茶振興に繋がった。		静岡市茶業振興協議会
45	B	2	③	静岡市民文化祭「市民大茶会」「茶道大会」	1:主たる事業		5月から6月にかけて実施する市民文化祭内の一事業として、「市民大茶会」「茶道大会」を実施する。	3,520の一部	事業の実施	静岡市民文化祭の一事業として、5/28に紅葉山庭園及び清水テルサを会場に、「市民大茶会」「清水茶道大会」を開催した。	3,520の一部	実施 静岡市民文化祭 来場者数：12,524人 (目標値：14,000人)	a	多くの来場者を迎え、広く市民に茶道文化に触れる機会を提供することができた。		文化振興課
46	B	2	③	芹美で味わう静岡茶	1:主たる事業		日本茶インストラクターによる来館者に呈茶サービスの実施	-	参加人数	-	-	未実施	d	新型コロナウイルス感染拡大収束後の様子見のため、令和5年度は開催を予定していなかった。		文化振興課
47	B	2	③	生涯学習施設お茶関連講座	1:主たる事業		生涯学習施設等において、市民を対象としたお茶について学ぶ講座を開催する。（お茶の入れ方等）	指定管理料の一部を含む	講座回数20回	生涯学習施設等において、市民を対象としたお茶について学ぶ講座を開催した。	指定管理料の一部を含む	無人館を除く37館中3館で6のお茶に関する講座を17回実施。	a	お茶を入れ、飲む講座や、お茶を利用した料理講座、お茶についての学習を行う講座等を開催したことで、お茶を飲み、触れ合う機会の創出を図り、お茶の普及を促進できた。		生涯学習推進課

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

B 生活/文化

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本 方向	基本 的 方 策	具 体 的 方 策	事業名	種 別 1:主たる事 業 2:関連事 業	再掲	事業計画			事業実績				備考	所管課 (関係団体)	
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度			評価
48	B	2	③	茶区魅力づくり事業	2:関連事業		茶トラベラーの実施により、下記の地域住民活動に集客支援を行うことで、普及促進が期待できる。 ①茶トラベラー安倍口編「内牧大茶会」 ②茶トラベラー清沢編「お茶感謝祭&地域散策」	10,722 の一部	各事業の実施	①茶トラベラー安倍口編「内牧大茶会」 →茶チャレンジャーとして実施 ②茶トラベラー清沢編「お茶感謝祭&地域散策」 →令和5年5月21日実施	9,823 の一部	①支援内容変更 ②実施	a	茶トラベラーでは、お茶採み実演や調茶体験、新茶詰め放題などお茶に親しむイベントに参加。		茶区地域総務課
49	B	2	③	食育推進事業	2:関連事業		「お茶の食育」等として、食育応援団が開催する教室や食育の日等のイベント、市のSNS等において若い世代へ緑茶の入れ方等について発信する	649 の一部	①食育応援団派遣件数:50件 ②食育推進計画の登載事業とした情報発信:10件	食育応援団や静岡市食生活改善推進協議会が開催する教室等で、お茶を使用したレシピ紹介や食育の日等で緑茶一煎バック等を配布した。	281	①45件 ②10件	a	①計画の9割程度の派遣となったが、1,392人が参加し好評であった。 ②市のSNSや庁舎内展示等により計画通り実施した。		健康づくり推進課
50	B	2	③	学校給食「お茶」提供事業	2:関連事業	○ (B-1- ①)	学校給食として、静岡市オリジナル紙バック緑茶を提供する。	-	5回/年	市立小中学校対象に学校給食として、静岡市オリジナル紙バック茶の提供を行った。	-	静岡市オリジナル紙バック茶の提供(4回)	a	毎月1日のお茶の日付近くわくわく給食の日に併せた提供も行うことができた。		学校給食課
51	B	2	③	学校給食で「茶」を使った料理の提供	2:関連事業		茶の時期や「静岡市お茶の日」「ふるさと給食の日」などに学校給食で茶を使った料理を提供する。	-	事業の実施	新茶の時期や「静岡市お茶の日」、「ふるさと給食の日」などに、学校給食で茶を使った料理を提供。	-	事業の実施	a	各学校給食施設でのお茶をつかった料理提供に加え、わくわく給食でも静岡県産の茶葉を使った、煎茶餡入りクリーム大福を全施設で提供をすることができた。		学校給食課
52	B	2	④	静岡お茶カフェ情報発信事業	1:主たる事業		静岡お茶カフェの情報を集約し、発信する。	-	お茶のまち静岡市ホームページ内「静岡お茶カフェ」への新規掲載店舗計5店舗	お茶のまち静岡市ホームページ内「静岡お茶カフェ」に対象店舗を新規掲載した。	-	新規掲載店舗11店舗	a	掲載店舗が拡充した結果、お茶のまち静岡市ホームページアクセス数が対前年比+15,530件と伸長した。		農業政策課
53	B	3	⑤	茶手揉保存事業	1:主たる事業		茶の製造技術の原点は、手揉製茶にあり、より多くの生産者にその技術を伝え、手揉技術の保存と向上に努め、製品を広く公開展示し、茶業の振興を図る。	360	計画事業の完全実施	イベントへの参加等、茶手揉保存事業の全ての事業を実施した。	360	計画事業の完全実施	a	学校行事やイベント等、積極的に活動を実施し、コロナ前と同程度の参加回数に戻すことができた。		農業政策課
54	B	3	⑤	駿府本山お茶まつり事業	1:主たる事業		茶詰めの儀、お茶壺道中行列、口切りの儀等の事業を実施する。	4,000	計画事業の完全実施	「茶詰めの儀」「口切りの儀」「お茶壺道中行列」の全ての事業実施した。	3,000	計画事業の完全実施	a	「茶詰めの儀」「口切りの儀」「お茶壺道中行列」の全ての事業を実施し、静岡本山茶をPRできた。		農業政策課
55	B	3	⑤	聖一国師顕彰事業	1:主たる事業		聖一国師は静岡市出身の高僧で、静岡茶の始祖であり、本市の茶産業や茶文化の発展に尽くした偉人である。この偉大な功績を広くPRし後世に伝えるため、顕彰事業を行う。	865	事業の実施	「清い水」の水汲み・水撒きの儀への参加、聖一国師に所縁のある福岡博多市との交流を行う等、静岡市のお茶のPRとともに聖一国師の功績について周知を図った。	247	適正に事業を実施した。	a	事業を実施し、静岡市のお茶のPRとともに聖一国師の功績について周知を図った。		農業政策課

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

B 生活/文化

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本 方向	基本 的 方 策	具 体 的 方 策	事業名	種 別 1:主たる事 業2:関連事 業	再掲	事業計画			事業実績					備考	所管課 (関係団体)
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度	評価		
56	B	3	⑤	静岡市献上茶謹製事業	1:主たる事業		県の無形民俗文化財に指定されている「手揉製茶技術」を用いて謹製したお茶を宮内庁へ献上することにより、当該技術や手揉茶、「お茶のまち静岡市」をPRし、茶文化の継承を図る。	3,694	計画事業の完全実施	県の無形民俗文化財に指定されている「手揉製茶技術」を用いて謹製したお茶を宮内庁へ献上することにより、当該技術や手揉茶、「お茶のまち静岡市」をPRし、茶文化の継承を行った。	2,283	事業の実施	a	事業の完全実施を行うことができた。	R5単年度事業	農業政策課
57	B	3	⑤	静岡市文化財保存活用地域計画策定事業	2:関連事業		市の歴史文化の特徴や価値を保存活用し、未来に継承していくための地域計画を策定する。本市の歴史的特徴や文化財同士を関連付けるテーマとして「お茶」をとりあげることを検討。	3,694	計画素案の作成	・計画素案の作成 ・ワークショップの実施	5,210	・計画案の作成完了	a	・予定通りに計画案の作成が進んでいる。		文化財課

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

C 都市/交流

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本 的 方 策	基 本 的 方 策	具 体 的 方 策	事業名	種 別 1:主たる事業 2:関連事業	再掲	事業計画			事業実績				備考	所管課 (関係団体)
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度		
58	C	1	①	「お茶のまち静岡市」HP活用事業	1:主たる事業		「お茶のまち静岡市」ホームページによる情報発信及びFacebookによる情報発信	930	ホームページアクセス数 107,000件	「お茶のまち静岡市」HPの維持管理及びHP、Facebookにて情報発信を実施。	627	ホームページアクセス数 142,259件	a	ホームページアクセス数について、令和5年度は対前年比+23,015件と伸長し、「お茶のまち静岡市」ホームページによる情報発信強化が図られた。	農業政策課
59	C	1	①	「お茶のまち静岡市」国内プロモーション事業	1:主たる事業		市内外にて「お茶のまち静岡市」の認知度向上及び販路・消費拡大を目的としたプロモーションを行う。 市内:「山の新茶」プロモーション『茶縁』の実施、J R静岡駅での情報発信 市外:プロモーションの実施	4,737	【市内】 茶縁:事業の実施 J R静岡駅:事業の実施 【市外】 プロモーション実施回数:4回	【市内】 新茶PRイベント「茶縁」での消費拡大やJR静岡駅構内での情報発信を実施した。 【市外】 福岡県福岡市博多にて、静岡茶商工業協同組合と連携し、プロモーション及び販売活動を実施した。	1,931	【市内】 茶縁:事業の実施 J R静岡駅:事業の実施 【市外】 プロモーション実施回数:4回	a	【市内】 新茶PRイベント「茶縁」での消費拡大やJR静岡駅構内での情報発信を実施した。 【市外】 福岡県福岡市博多にて、静岡茶商工業協同組合と連携し、プロモーション及び販売活動を実施した。	農業政策課
60	C	1	①	「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入事業	1:主たる事業		タクシー業界と連携し、市内を走るタクシーに「お茶のまち静岡市」をイメージさせるラッピングを施して情報発信等を行うことにより、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を推進する。	6,257	導入台数:7台 (新規UD車両4台・既存タクシー車両へのラッピング3台)	新規7台のラッピングタクシー導入のための補助金を交付するとともに、タクシー乗務員を対象とした「お茶のまち静岡市」乗務員研修を開催した。 毎月1日はラッピングタクシーへの乗客に対し、静岡市のお茶を配付し、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を図った。	9,939	導入台数:7台 (新規UD車両6台・既存タクシー車両へのラッピング1台)	a	ラッピングタクシーでのお茶配布を通じて「お茶のまち静岡市」の認知度向上につなげることができた。	農業政策課
61	C	1	①	組立式茶室活用事業	1:主たる事業		市内外における「お茶のまち静岡市」の認知度向上を図るため、保有する組立式茶室「受庵」をイベント等で活用・貸出を行う。	-	事業の実施	11月1日の静岡市「お茶の日」にエスバルスドリームプラザにて実施した「静岡市『お茶の日』啓発イベント」にて活用した。	-	事業の実施	a	イベント等での活用、貸出を周知していく。	農業政策課
62	C	1	①	茶業界・タクシー業界連携事業	1:主たる事業		本市茶業界・タクシー業界が連携し、市内を走るタクシーを通じて情報発信等を行うことにより、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を推進する。	-	事業の実施	8月5日「タクシーの日」にタクシー利用者へ「静岡市のお茶」を配布し「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を推進した。	-	事業の実施	a	タクシー業界との連携によるお茶配布を通じて「お茶のまち静岡市」の認知度向上につなげることができた。	静岡市茶業振興協議会
63	C	1	①	シティプロモーション推進事業(しずチカ空間再構築事業)	2:関連事業		しずチカを拠点とした、「お茶のまち静岡市」をはじめとする静岡市の魅力を国内外の人々、来訪者並びに市民に向けて情報発信する。	110,000の一部	シティプロモーションの推進	・JR静岡駅北口地下広場「しずチカ」(しずチカ茶店「一茶」、市政情報発信コーナー)において、テーマを設定したお茶カフェを開設し、テーマに合うお茶やお茶のおとも(おむすび、お菓子)を販売した。また、お茶を飲みながら楽しめる各種イベントを開催した。	9,331の一部	シティプロモーションの推進	a	テーマを設定した企画カフェを開設したことで、来場者数が増加(一日の平均来場者数:R4 617人、R5 671人)し、本市のお茶や市政情報について広く周知できた。次年度も継続して取り組んでいきたい。	広報課

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

C 都市/交流

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本 方向	基本 的 方 策	具 体 的 方 策	事業名	種 別 1:主たる事業 2:関連事業	再掲	事業計画			事業実績				備考	所管課 (関係団体)
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度		
64	C	1	①	農水産物消費拡大促進事業	2:関連事業		情報誌やホームページの活用、PRイベント等を通じて、市内外に向けた本市農水産物の情報発信と販売促進に取り組む。	2,528	HP「ZRATTO!しずおか」にアクセスした年間ユーザー数 71,000人	ホームページ「ZRATTO!しずおか」の維持管理及びPRイベントを行い、本市農産物の認知度向上及び地産地消を推進して消費拡大へつなげる。	1,336	HP「ZRATTO!しずおか」へのアクセスユーザー数 69,439人	a	目標値に届かなかったが、市内農業者の直売所などのHPへリンクすることで、市の農水産物の消費拡大へつなげることはできた。	農業政策課
65	C	1	①	オクシズプロモーション事業	2:関連事業		都市住民と地域住民の交流を促進し、交流人口及び定住人口の増加を図るため、オクシズの意義・役割・魅力を伝えるプロモーションを実施する。	10,662	オクシズHPアクセス数 237,260件	各種イベントへの出展やオクシズHPの改修、HP及び公式SNSを活用し、オクシズの意義・役割・魅力を伝えるプロモーションを実施した。	10,266	オクシズHPアクセス数 125,870件	b	アクセス数算出方法の変更に伴い、成果指標は目標値に届かなかったが、首都圏でのイベントへの出展やオクシズHPやSNS広告を活用し、全国のユーザーにオクシズの魅力を発信することができた。	中山間地振興課
66	C	2	②	「お茶のまち静岡市」HP活用事業	1:主たる事業	○ (C-1-①)	「お茶のまち静岡市」ホームページによる情報発信及びFacebookによる情報発信	930	ホームページアクセス数 107,000件	「お茶のまち静岡市」HPの維持管理及びHP、Facebookにて情報発信を実施。	627	ホームページアクセス数 142,259件	a	ホームページアクセス数について、令和5年度は対前年比+23,015件と伸長し、「お茶のまち静岡市」ホームページによる情報発信強化が図られた。	農業政策課
67	C	2	②	お茶の産地づくり推進事業	1:主たる事業	○ (A-3-⑦)	お茶のまちづくりを推進するため、お茶の生産者、流通関係者及び消費者の協働を通じて市内の茶産地のブランド力を高める事業を実施する団体への支援	450	事業の実施	市内の茶産地のブランド力を高める事業を実施する団体へ補助金を交付した。	401	補助金交付件数 1件	a	市産地のブランド力を高める事業の実施支援を行った。	農業政策課
68	C	2	②	茶販路拡張事業	1:主たる事業		静岡市のお茶の消費拡大のため、消費者に対し、静岡市のお茶に関する情報を提供・宣伝・普及させるイベント等の事業を実施する「静岡茶商工業協同組合」に対して、補助金を交付する。	3,000	事業の実施	対象事業を実施する「静岡茶商工業協同組合」に対して補助金を交付	3,000	補助金交付件数 1件	a	「静岡茶商工業協同組合」に対して補助金を交付し、静岡市のお茶の消費拡大事業の支援を行った。	農業政策課
69	C	2	②	「お茶のまち静岡市」国内プロモーション事業	1:主たる事業	○ (C-1-①)	市内外にて「お茶のまち静岡市」の認知度向上及び販路・消費拡大を目的としたプロモーションを行う。 市内:「山の新茶」プロモーション『茶縁』の実施、JR静岡駅での情報発信 市外:プロモーションの実施	4,737	【市内】 茶縁:事業の実施 JR静岡駅:事業の実施 【市外】 プロモーション実施回数:4回	【市内】 新茶PRイベント「茶縁」での消費拡大やJR静岡駅構内での情報発信を実施した。 【市外】 福岡県福岡市博多にて、静岡茶商工業協同組合と連携し、プロモーション及び販売活動を実施した。	1,931	【市内】 茶縁:事業の実施 JR静岡駅:事業の実施 【市外】 プロモーション実施回数:4回	a	【市内】 新茶PRイベント「茶縁」での消費拡大やJR静岡駅構内での情報発信を実施した。 【市外】 福岡県福岡市博多にて、静岡茶商工業協同組合と連携し、プロモーション及び販売活動を実施した。	農業政策課

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

C 都市/交流

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本方向	基本方針	具体的方針	事業名	種別 1:主たる事業 2:関連事業	再掲	事業計画			事業実績					備考	所管課 (関係団体)
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度	評価		
70	C	2	②	ふるさと農力チャレンジ事業	2:関連事業	○ (A-3-⑤)	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付する。	2,000	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 4件	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付した。	1,735	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 4件	a	成果指標を達成する件数に対し、補助金を交付し農業者の支援をすることができた。	農業政策課	
71	C	2	③	特産茶戦略的輸出支援事業	1:主たる事業	○ (A-3-⑥)	本市で産出された茶の輸出量増加を目的とした茶業者への支援を行う。 ・海外販路拡大支援 ・残留農薬検査支援	4,400	静岡市のお茶 輸出量 R5:3.0t	茶の輸出に取り組む事業者に対し、補助金を交付した。	2,545	静岡市のお茶 輸出量 R5:7.0t	a	補助金交付件数 海外販路拡大支援：7件 残留農薬検査支援：4件	農業政策課	
72	C	2	③	グローバル産地づくり推進事業	1:主たる事業		静岡市産の茶の輸出量拡大を目的に、輸出サプライチェーンを構築し、海外でのプロモーション、情報発信等を実施。	5,793	静岡市のお茶 輸出量 R6:15t	市内茶業者4者について、フランス・パリにて商談会を開催し、その後営業代行を実施した。	5,357	静岡市のお茶 輸出量 R5:7.0t	b	商談会の結果、5者・16商品の商談が成立した。	静岡市茶業振興協議会	
73	C	3	④	お茶ツーリズム推進事業	1:主たる事業		・来静者等の受入に積極的な茶農家・茶商等を対象とした講習会・意見交換会等の開催 ・来静者のお茶ツーリズムに関する相談受付窓口の設置 ・お茶ツーリズムモデルコース造成等の実施	5,349	新規ツーリズム事業者：1事業者以上	お茶ツーリズム相談受付窓口の運営先との連携により、お茶ツーリズムに取り組む茶農家等の増加及び対応等の向上を推進した。また、新たに茶畑フォトスポットの体験メニューをHP上に追加したほか、モデルコースを2コース作成した。	5,082	新規事業者1者	a	受託者等と連携しながら、お茶ツーリズムを推進することができた。	令和6年度は観光政策課へ移管 農業政策課 (R5所管) 観光政策課 (R6所管)	
74	C	3	④	「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入事業	1:主たる事業	○ (C-1-①)	タクシー業界と連携し、市内を走るタクシーに「お茶のまち静岡市」をイメージさせるラッピングを施して情報発信を行うことにより、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を推進する。	6,257	導入台数：7台 (新規UD車両4台・既存タクシー車両へのラッピング3台)	新規7台のラッピングタクシー導入のための補助金を交付するとともに、タクシー乗務員を対象とした「お茶のまち静岡市」乗務員研修を開催した。 毎月1日はラッピングタクシーへの乗客に対し、静岡市のお茶を配付し、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を図った。	9,939	導入台数：7台 (新規UD車両6台・既存タクシー車両へのラッピング1台)	a	ラッピングタクシーでのお茶配布を通じて「お茶のまち静岡市」の認知度向上につなげることができた。	農業政策課	
75	C	3	④	組立式茶室活用事業	1:主たる事業	○ (C-1-①)	市内外における「お茶のまち静岡市」の認知度向上を図るため、保有する組立式茶室「受庵」をイベント等で活用・貸出を行う。	-	事業の実施	11月1日の静岡市「お茶の日」にエスパルスドリームプラザにて実施した「静岡市『お茶の日』啓発イベント」にて活用した。	-	事業の実施	a	イベント等での活用、貸出を周知していく。	農業政策課	

第2次静岡市茶どころ日本一計画実施計画 令和5年度事業実績

C 都市/交流

達成状況 a:計画の80%以上達成 b:計画の60%以上80%未満の達成 c:計画の60%未満の達成 d:未実施

No.	基本 方向	基本 的 方 策	具 体 的 方 策	事業名	種 別 1:主たる事業 2:関連事業	再掲	事業計画			事業実績					備考	所管課 (関係団体)
							事業内容	予算額 (千円)	成果指標	実施内容	決算額 (千円)	成果指標 達成状況	達成度	評価		
76	C	3	④	聖一国師顕彰事業	1:主たる事業	○ (B-3-⑤)	聖一国師は静岡市出身の高僧で、静岡茶の始祖であり、本市の茶産業や茶文化の発展に尽くした偉人である。この偉大な功績を広くPRし後世に伝えるため、顕彰事業を行う。	865	事業の実施	「清い水」の水汲み・水撒きの儀への参加、聖一国師に所縁のある福岡博多市との交流を行う等、静岡市のお茶のPRとともに聖一国師の功績について周知を図った。	247	適正に事業を実施した。	a	事業を実施し、静岡市のお茶のPRとともに聖一国師の功績について周知を図った。	農業政策課	
77	C	3	④	オクシズプロモーション事業	2:関連事業	○ (C-1-①)	都市住民と地域住民の交流を促進し、交流人口及び定住人口の増加を図るため、オクシズの意義・役割・魅力を伝えるプロモーションを実施する。	10,662	オクシズHPアクセス数 237,260件	各種イベントへの出展やオクシズHPの改修、HP及び公式SNSを活用し、オクシズの意義・役割・魅力を伝えるプロモーションを実施した。	10,266	オクシズHPアクセス数 125,870件	b	アクセス数算出方法の変更に伴い、成果指標は目標値に届かなかったが、首都圏でのイベントへの出展や公式SNSでの発信やSNS広告を活用し、全国のユーザーにオクシズの魅力を発信することができた。	中山間地振興課	
78	C	3	④	姉妹都市等交流事業	2:関連事業		姉妹都市等に職員が訪問する際に「静岡市のお茶」を持参しPRする。また、姉妹都市や大使館等の公式訪問者を受け入れる際に「静岡市のお茶」でもてなす。	13,594 の一部	事業の実施	公式訪問者の受け入れ時に「静岡市のお茶」でもてなした。	9,270 の一部	事業を実施し、お茶のまち静岡市のPRに貢献した。	b	渡航制限解除後の国際的な往來の再開を見込み、引き続き、海外関係者へ静岡市のお茶をPRする。	国際交流課	
79	C	3	④	客船寄港歓迎事業	2:関連事業		客船が清水港に寄港した際、お茶の販売ブースをはじめとした出店などの歓迎事業を実施する。	79,546	客船寄港時のお茶の販売回数と店舗数、売上未定	客船が清水港に寄港した際、お茶の販売ブースの設置	79,546	・寄港回数：68回内、日の出埠頭での販売ブース設置63回 ・お茶の販売回数：27回	c	販売ブースではお茶以外の静岡の特産品等を扱う出店があったため。	客船歓迎事業は継続されるが、客船誘致委員会による販売ブースの設置は令和5年度で終了	海洋文化都市政策課 (R5所管) 清水みなと振興課 (R6所管)
80	C	3	④	静岡県中部地域連携DMO推進事業	2:関連事業		お茶を活かした本市のブランディングと誘客促進 ・ティーテラス（絶景の茶畑に設置した木製デッキ） ・茶水プロジェクト（お茶を使ったかき氷）	59,800 の一部	■ティーテラス 施設：4か所 （自走開始した5か所は除く） 体験人数：540人 売上：170万円 ■茶水 参画店舗：●●店舗（静岡中部地域） 売上杯数：●●万杯	■ティーテラス（茶の間） 新規ティーテラスを1カ所（静岡市清水区）設置。インフルエンサーを招聘し、Instagramでの情報発信やインフルエンサーがモデルを務める雑誌でも思い出の旅先として紹介された。 ■茶水 夏の風物詩としてのブランド定着を目指し、地元メディアを中心とした広告掲出やSNSを活用した情報発信などを実施した。	59,800 の一部	■ティーテラス（茶の間） 施設：3か所 体験人数：210人 売上：52.1万円 ■茶水 参画店舗：55店舗（静岡中部地域） 売上杯数：5.4万杯	b	■ティーテラス（茶の間） 新規施設の設置をさらに進めることで観光目的地としてのブランド価値を高めていくと共に、体験商品の開発やAGTセールスをさらに進めていくことを期待する。 ■茶水 過去実施した中で最高の販売数となり、コロナ禍前からの継続的なブランディング推進が実を結んだ1年となった。今後より一層のブランド定着へ向けた施策を実施し、域内消費が拡大することを期待する。	観光・MICE推進課 (R5所管) 観光政策課 (R6所管)	